

才能教育通信

迎春

会長 豊田 耕兒



新年明けましておめでとうございます。
今年(第五十回)全国大会(グランドコンサート)をはじめ

会の動きが一層活発になることでしょう。前日に行われるシンポジウムはその一つで、今後の才能教育、即ち、スズキ・メソッドの認識と発展に役立つに違いありません。又、ワークショップの充実もこれから欠かすことの出来ない世界です。今、我々一人一人の自覚と献身が問われています。「全ての子供の幸せの為」に皆手を取合せて、もう一歩前進しましょう。

グランドコンサートの

成功と本会の発展を！

常務理事
グランドコンサート大会委員長
中嶋 嶺雄



新年おめでとうございます。今年(第五十回)を迎えるグランドコンサートという才能教育研究

会にとつての歴史的な区切りの年です。で、会員全員のご協力によって記念すべきコンサートの成功を勝ち得たいと思っております。年頭(に)当たって、心からの

お願いを申し上げます。

グランドコンサートの前日には、「スズキ・メソッドの原点と明日への展望」と題する国際シンポジウムも開催されますので、この国際的な討論の場にも、多くの方々に参加されますよう期待しております。何卒よろしくお願いいたします。

今年(第五十回)は、一つの区切りとなる年になります。それは、この四月に公立大学最初の独立行政法人として国際教養大学が秋田県に開学するからですが、学生定員百名にたいし教職員は合計七十数名(大部分が外国人)で、徹底した少人数教育のこの大学は、すべての授業も会合も英語でおこなわれ、キャンパスライフは全寮制、図書館は二十四時間開館、全学生に一年間の海外留学を義務づけるなど、日本のこれまでの大学にない特徴をもった「現代の松下村塾」を目指しております。

この大学の説明会に、現役高校生のためのユニークな道場として定評のある早稲田塾新宿校へ行つたところ、スズキ・メソッドでヴァイオリンを習っていて第十巻が終わつたので今回のグランドコンサートに出る予定という女子高校生がいて、ぜひ国際教養大学を受験したいとのことでしたので、私はとても嬉しく思いました。全国から多くの優秀な受験生が集まりつつありますが、スズキ・メソッド出身者が一人でも多く合格されますことを期待しております。

新年明けまして

おめでとうございます

常務理事 給田 英哉

二〇〇四年は、わが才能教育研究会にとつて記念すべき年になると思います。

発行所

才能教育研究会

© Talent Education
Research Institute 2004

〒390-8511
松本市深志3丁目10番3号

電話 0263-32-7171

www.suzukimethod.or.jp

編集兼
発行人 給田英哉

振替00500-3-9368

一部 10円



三月三十日には
第五十回という記
念すべき「グラン
ドコンサート」が
予定されており、

またその前日には世界各国からスズキ・メソッドに関係の深い方を招いての「シンポジウム」も計画されているなど、大きな節目の年にあたるからです。

ここ数年、豊田耕兒会長の下で私たちは、鈴木鎮一先生の訴えつづけられた思想「どの子も育つ」を、より着実に根付かせるための真剣な努力を続けて参りました。残念ながら生徒数が減少する傾向は続いています。会としての危機意識はかなり高まってきたと思います。

私は昨年秋ダラスでのISA(国際スズキ協会)の理事会に初めて出席し、改めて全世界的に広がり続けているスズキ・メソッドの偉大な力を再認識させられました。日本以外ではスズキ・メソッドは、どんどん伸びています。少子化は日本だけの問題ではありません。少子化を会員の伸び悩みの原因に挙げているのは実は日本だけなのです。良い指導者と、親御さんの子供に対する愛情があれば必ず子供は育つ、というたくさんの事例を世界各国で今でも示しています。私たちはもつと自信を持ってよいのです。

ただ、どんなに優れたメソッドでも時代の変化に対応する柔軟性がなくては廃れてしまうことは避けられません。豊田会長が鈴木先生の意を受けられて、関係者の意見を聞きながら、ご自身の献身的な努力で教則本の改訂に真剣に取り組まれておられることは、会が二十一世紀に向けて更に発展していくために極めて大切なプロセスでもあります。この点はISAも十分に認識をしております。改訂版の

アメリカでの出版を急ぐ事になりました。私たちも、もう一度原点に返って、これからも「明日の世界を担う文化人の誕生」を共に祝えるように、この運動を更に展開していきましょう。

五十周年は節目です

常務理事 津田 光茂



振り返ると紆余曲折はあっても一年がたち、新年を迎えます。今年こそ佳い年になりませう。

すようにと願い、懸命に努力し、年を重ねてきて、ふと気がつくと正月は「冥土の旅の一里塚」と言う言葉が真実味を帯びてきます。だからこそ、生きている間に、元気で働ける間に立派な仕事を、早く次の世代にバトンタッチをしなければならぬのです。

人は誰しも老いて体力・知力が衰えてきます。まして時代はどんどん進み、情勢は変化しますから、過去の栄光にとられる老人はセンスがズレて取残されます。これが個人の問題なら静かに一生を終え、それで終止符となりますが、企業・団体・法人など組織になりますとそれでは済まなくなります。倒産・崩壊・解体は構成員の総てを悲劇のドン底に突き落とすからです。

古都・京都には老舗が数多くあり、江戸時代創業の店もよく見かけます。これらの店は一途に伝統に固執しているとお思いでしょうか、そうではありません。何時までも同じ事を繰り返していると、三代で潰れてしまいます。基本だけはしっかり守りますが、常に時代に即応してきただからこそ今日まで続いているのです。

才能教育研究会はこの十年、分裂・崩壊の危機こそ乗り越えましたが、会員の減少は止まっています。少子化や不況によるのも事実ですが、そればかりではありません。会員が増えている国もあるのです。

本会をもっと一般の会員にとつて魅力あるものにするため、理事・指導者・職員に若い世代を起用し、精力的に革新・挑戦して行かねばなりません。五十周年のグランドコンサートを節目に、今年こそ停滞から脱出する転換期としたいものです。

新年明けまして

おめでとうございます

常務理事 牧野 郁子



今年がグランドコンサート五十周年記念です。季刊誌にその歴史が写真で紹介されました。

たが、其々に沢山の想い出がよみがえってきました。共通している事は、この運動を広めたいという熱い思いです。それは誰もが持っていました。

「音楽で子供の心を育てよう。」故鈴木鎮一会長はメソッドを確立され、優秀な生徒さんが育ちました。それだけでなく、鈴木先生の願いは人間として立派な文化人になって欲しいという事です。それには保護者の方々に変わって頂かなければと、ウィットにとんだユーモアを交えて真剣に子育ての真髄を各地で講演され、日本国中に広がりました。やがて世界各国にひろがりました。

三、四歳の幼児教育から始まって大学生、社会人になつても音楽に魅せられて研鑽をつんでおられる方が沢山います。多くの方は「どの子も育つ、育て方一つ」で育つた方です。昨年の全国指導者研究会で豊田耕児会長は「この中の一字を変えてみたいと思います。」と言われ、「どの子も育つ、育ち方一つ」とお書きになりました。どちらも大変厳しい言葉ですが、育てていただいた、其処から自立して、一つを目指して行く上級生に皆様もなつて頂きたいと思えます。

また、「音を変えらるる」で貴方が変わる。」この言葉は鈴木会長から豊田会長に引き継がれ、この真髄を求める一年で

ありたいと思っております。

そして五十周年を機会に、アメリカを始め外国で有名になつていいるスズキ・メソッドを今の時代だからこそ、日本にこの素晴らしい教育ありと、熱い思いで新たに国内に発信したいと願います。会員の皆様のご協力を切にお願いいたします。

初春に想う

常務理事 小倉 浩子



明けましておめでとうございます。

「平和」という言葉がこんなにも遠い存在になつていた事に気付かされる今、私にいったい何ができるのだろうか…… 草花の世話をしながら思いを巡らせる足元から黄や紫の顔が無邪気に見上げています。

かすかに涼風を感じられる昨年九月の事でした。淋しくなる冬に備え、パンジーを育ててみようと思ひ立ち、苗床を作つて種を蒔きました。照りつけるお日さまをうらめしく見上げながら、毎日の水やりにも精を出しました。待てど暮らせど発芽はみられず「やはり無理だったか」と諦めはじめた十月半ばのある朝、小さな黄緑の点を一つ二つ見つけた時は嬉しくて天にも昇る心地になつたものでした。日に日にその数は増し、本葉六枚になつたら植えかえです。ところが、そのころになつてやつと芽をのぞかせる「超のんびりさん」もいるのです。小さな苗に似合わず緻密に絡み広がる根つこの立派さも驚きでした。植えかえ後の育ち方にも各々のペースがあり、この苗達がつまにか私の中で生徒のNちゃん、S君に入れ代わつている事に気付いた時には、思わず独り笑いをしていました。

かつて、鈴木鎮一先生が、一本の木から生命の神秘を感じられた事、それがスズキ・メソッドの源となつていいる事に思いを馳せ、私も自然との対話の中からヒントを戴きたいと思つていいます。皆様にとつて幸い多い年となりますように。